

子ども・子育て支援事業計画(教育・保育事業)の実施状況(中間年見直し)

計画上の教育・保育必要量の見込み及び確保の内容【平成28年4月1日時点を見込んだ数値】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A 量の見込	B 確保の内容				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 28 年度	1号認定	10,203	4,427	8,862			13,289	2,296	
		2号認定	学校教育を希 望	790	6,825			581	7,406	441
			上記以外	6,965						
		3号認定	0歳児	1,113	880		119	114	1,113	0
			1・2歳児	4,589	3,712		263	614	4,589	0
		計		23,660	15,844	8,862	382	1,309	26,397	2,737
C 2号認定・3号認定分		12,667	11,417	0	382	1,309	13,108	441		

確保方策に係る実績値(定員ベース)【平成28年4月1日現在】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 確保の内容				B 計	B - A'	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 28 年度	1号認定	8,966	3,619	8,872			12,491	2,737	
		2号認定	学校教育を希 望	788	6,941			636	7,577	654
			上記以外	6,923						
		3号認定	0歳児	946	1,011		127	51	1,189	243
			1・2歳児	4,713	3,542		360	597	4,499	-214
		計		22,336	15,113	8,872	487	1,284	25,756	3,420
D 2号認定・3号認定分		12,582	11,494	0	487	1,284	13,265	683		

のA'量の見込みの数値は、平成27年度当初の時点で28年度を推計し算定されているため、28年度当初の実績数値(利用数 + 保留数 = 申込数)をA'「必要量」とする。

確保方策に係る実績値(利用数 + 保留数 = 申込数)【平成28年4月1日現在】

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 申込児童数				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平成 28 年度	1号認定	8,966	2,920	6,834			9,754	0	
		2号認定	学校教育を希 望	788	6,465			458	6,923	0
			上記以外	6,923						
		3号認定	0歳児	946	854		56	36	946	0
			1・2歳児	4,713	3,964		327	422	4,713	0
		計		22,336	14,203	6,834	383	916	22,336	0
E 2号認定・3号認定分		12,582	11,283	0	383	916	12,582	0		

のA'量の見込みの数値は、平成27年度当初の時点で28年度を推計し算定されているため、28年度当初の実績数値(利用数 + 保留数 = 申込数)をA'「必要量」とする。

「計画上の教育・保育必要量の見込み及び確保の内容」と
「確保方策に係る実績値(定員ベース)」の差の検証について

(27年度当初定員と、計画上の教育・保育見込量の差分)

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A 必要量 (当初申 込数) - 量 の見込	B 確保の内容 (定員確保数 - 確保の見込数)				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平 成 2 8 年 度	1号認定	-1,237	-808	10			-798	-	
		2号認定	学校教育を希 望	-2	116			55	171	-
			上記以外	-42						-
		3号認定	0歳児	-167	131		8	-63	76	-
			1・2歳児	124	-170		97	-17	-90	-
		計		-1,324	-731	10	105	-25	-641	-
C 2号認定・3号認定分		-85	77	0	105	-25	157	-		

1号認定相当児童(私学助成幼稚園入園児含む)申込数実績が、当初の量の見込に対し、大きく下回った。

0歳児の見込数より申込数が大きく下回った。

認可保育所、認定こども園における1、2歳児クラスの定員確保数が、当初の確保の見込数を下回った。

小規模保育、事業所内保育の設置数が、当初の確保の見込数を上回った。

地方単独施策による保育施設「相模原市認定保育室」から、認可保育所や小規模保育事業への移行が若干進んだ。

「確保方策に係る実績値(定員ベース)」と
「確保方策に係る実績値(申込ベース)」の差の検証について

単位:人

区域	計画年度	利用者区分	A' 必要量	B 確保の内容 (定員数 - 申込児童数)				B 計	B - A	
				特定教育・ 保育施設	確認を受け ない幼稚園	特定地域型 保育事業	認定保育室			
市 全 域	平 成 2 8 年 度	1号認定	-	699	2,038			2,737	-	
		2号認定	学校教育を希 望	-	476			178	654	-
			上記以外	-						-
		3号認定	0歳児	-	157		71	15	243	-
			1・2歳児	-	-422		33	175	-214	-
		計		-	910	2,038	104	368	3,420	-
C 2号認定・3号認定分		-	211	0	104	368	683	-		

0歳の申込児童に対し、保育所、認定こども園については定員が多い状況。

1、2歳の申込児童に対し、保育所、認定こども園については定員不足の状態。

小規模保育事業の開設や認定保育室の受入れにより対応しているが、認可保育所等への申込みが

全体の傾向と今後の対策

に対するの充足率...	115.3%	特定教育・保育施設の0歳充足率...	118.4%
うち、2号認定・3号認定分充足率...	105.4%	特定教育・保育施設の1、2歳充足率...	89.4%
うち、3号認定分充足率...	100.5%		

当初の事業計画と実態について比較すると、認可保育所、認定こども園の0歳クラスにおいては定員が多くなっており、1、2歳クラスについては、逆に定員不足が見受けられるなど、ニーズと定員設定のミスマッチが生じている。小規模保育などの特定地域型保育事業、認定保育室においては、ある程度の定員を確保しているものの、一義的には、認可保育所を希望する者が多い傾向にある。既存園に対し、1、2歳(特に1歳)のクラス定員枠のみ拡充させることは施設的な制約もあるため、引き続き認可保育所の新設を行うとともに、幼稚園の認定こども園への移行及び小規模保育事業との連携を進め、ニーズを満たす定員の確保に努める。